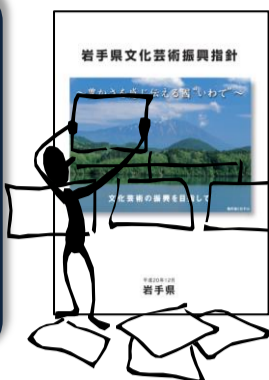
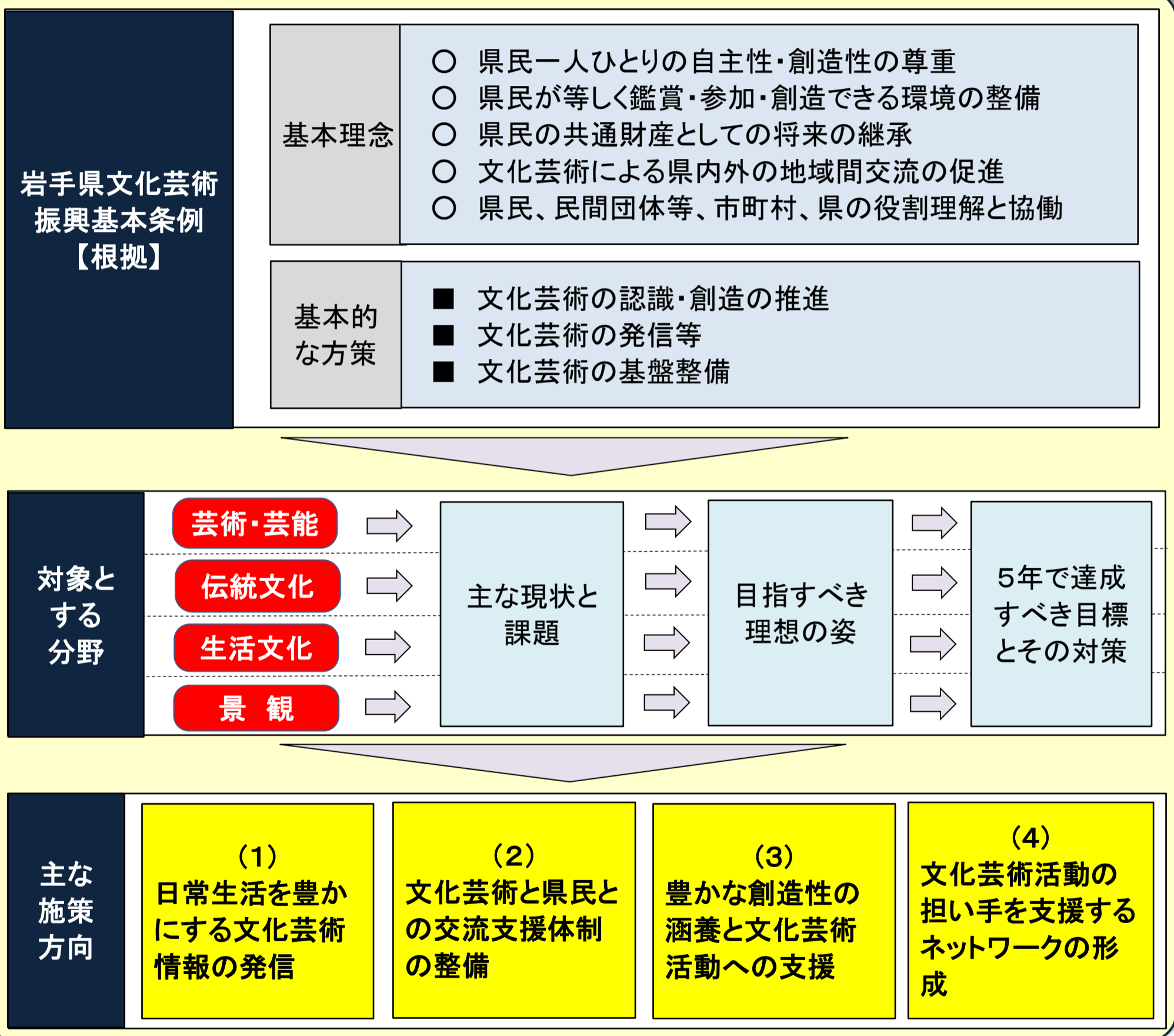


1 趣旨

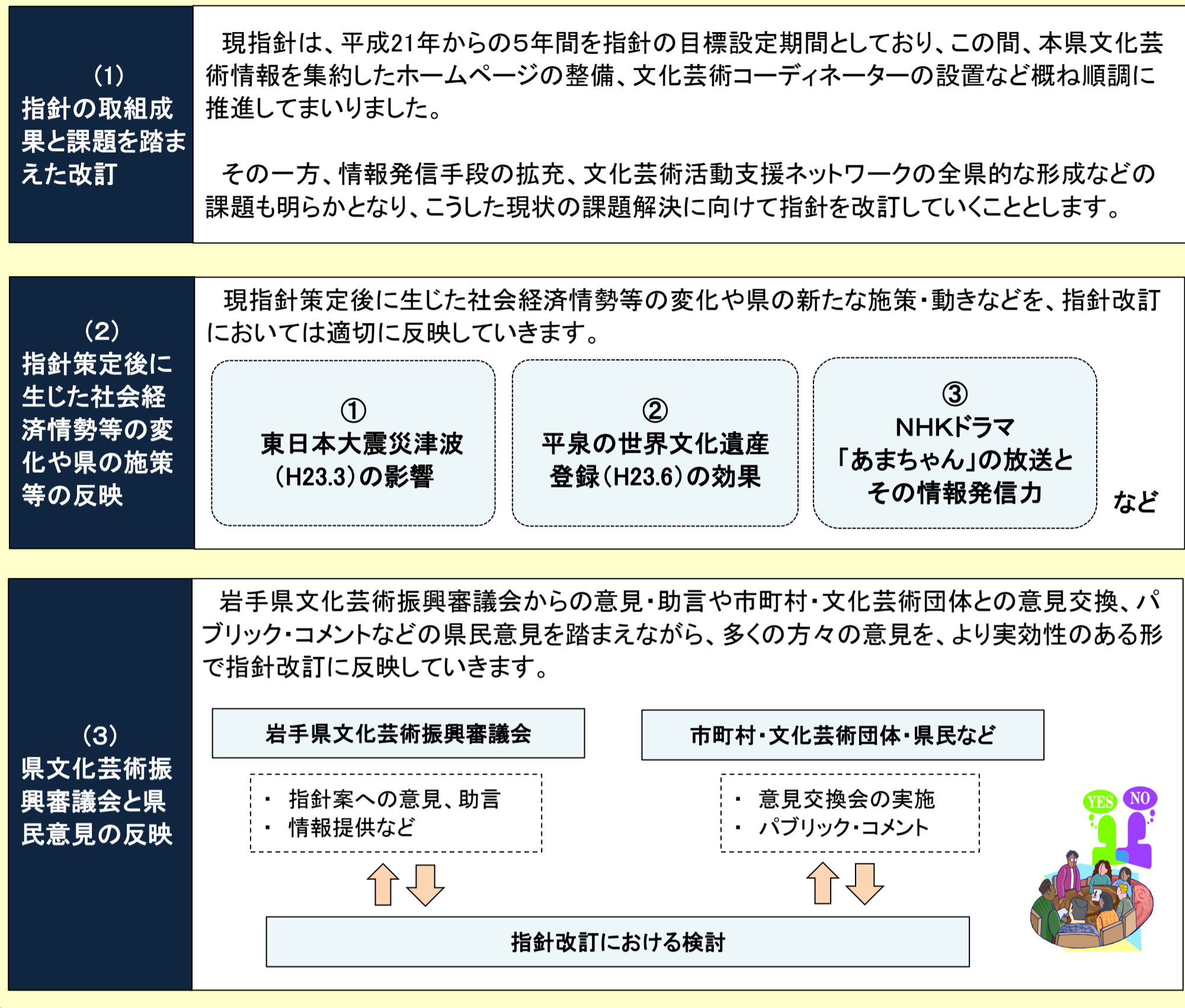
平成20年12月に策定された「岩手県文化芸術振興指針」の目標設定期間（平成21年からの5年間）が終了したことに伴い、当該目標設定期間の施策の検証を行い、過去5年間の社会経済情勢等の変化を踏まえたうえで、次の目標期間における本県文化芸術振興における施策方向を定めるものです。



2 現行の指針について



3 指針改訂の基本的な考え方



4 県民への周知と普及

「岩手県文化芸術振興指針」が県全体に広がり、県民一体となった文化芸術の振興が着実に進むよう、ホームページへの掲載をはじめとした県の広報、説明会の開催などを通じ、広く県民の皆様へ指針の内容を周知し、その普及に努めてまいります。

スケジュール	項目	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	岩手県文化芸術振興審議会		●【第17回】諮問・改訂の方向性協議			●【第18回】構成・改訂イメージ協議		●【第19回】中間案協議				●【第20回】最終案協議・答申
	パブリックコメント、意見交換、調査等			● 県文化芸術コーディネーター意見聴取 (県民アンケート)	● 県文化芸術創造アドバイザー意見聴取 (市町村等・各文化芸術団体との意見交換)				● (パブリックコメント・地域説明会)		最終案調整	
	事務手続等					中間案とりまとめ			● 議会へ報告(12月議会)			● 議決(3月議会)

5 第1期の成果・課題等を踏まえた指針改訂における見直しの観点

(前回) ... 前回の審議会委員意見

第1期指針目標期間(平成21年からの5年間)

①取組成果 ②課題 ③委員意見

④ 社会経済情勢等の変化等

指針改訂における追加・修正の観点

施策方向	① 取組成果	② 課題	③ 委員意見	④ 社会経済情勢等の変化等	指針改訂における追加・修正の観点
(1) 日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信 「彩る」	<p>○ 本県文化芸術情報を集約したホームページの整備 → HP「いわての文化情報大事典」の充実化</p> <p>○ 映像記録の保存環境及び県民閲覧機会の向上 → 民俗芸能DVDの作成・配付による映像記録の保存と県民の閲覧機会の向上</p>	<p>○ 情報発信手段(ツール)の拡充 → HP「いわての文化情報大事典」の閲覧数減少 → 文化芸術団体用の情報発信掲示板の利用者減 → 現在の主な情報発信手段は、ホームページのみであること</p>	<p>○ 本県文化芸術情報の発信方法・対象の拡大 → 県内外への文化芸術情報発信の視点や国際化へ対応 → 若者への情報提供方法のあり方やマスコミの活用等要検討</p> <p>○ 岩手らしさ・岩手独自の文化芸術に関する情報発信力の強化 → 岩手独自の、岩手にとって強みのある文化芸術情報の発信力強化</p>	<p>■ 東日本大震災津波(H23.3)の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内各団体、学生等による復興支援感謝の海外公演、本県の文化芸術を海外で紹介する機会の増加 震災による施設等被害、文化芸術活動への支障 文化芸術の再開の高まり 震災復興における若者・女性の活躍 国内外の著名な芸術家・団体等による復興支援公演等で文化芸術に触れる機会と交流の機会が増加 	<p>県内外への情報発信力の強化 拡充 岩手の文化芸術の魅力や平泉の理念・普遍的価値等を広く県内外に発信するための方策を検討</p> <p>多様化する情報発信手段(ツール)・手法への対応 新規 HP「いわての文化情報大事典」の掲載内容の見直し、SNSなどを利用した新たな情報発信手段、海外に向けた情報発信への対応等、岩手の文化芸術の新たなプロモーション方法について検討</p>
(2) 文化芸術と県民との交流支援体制の整備 「楽しむ」	<p>○ 文化芸術コーディネーターの設置 → 県内4広域振興圏に配置</p> <p>○ 文化芸術の鑑賞者数の増加 → 復興支援イベント等の増加による鑑賞者数の増加</p> <p>○ 文化芸術団体と地域との交流活性化 → 震災以降、県内外から多くの団体による支援イベントの開催</p>	<p>○ 文化芸術活動への参加者・活動団体数増加への取組 → 過去5年のうち、市町村芸術文化協会の所属団体数会員数・団体数は横ばいの状況</p>	<p>○ 県民・鑑賞者等のニーズ把握の強化 → 鑑賞者のニーズに合った博物館・美術館・各種公演等の内容・企画力の向上</p> <p>○ 新しい文化芸術分野の支援 → 若者文化の多様な可能性を県全体の文化芸術に高めていく取組、ポップカルチャー等への支援</p>	<p>■ 平泉の世界文化遺産登録(H23.6)の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 岩手県の文化財・観光素材等に対する国内外からの注目度が向上 地域の文化財等を理解する・盛りたてる動きの高まり 	<p>「岩手県文化芸術コーディネーター」の活用 拡充 各地域に設置された「岩手県文化芸術コーディネーター」の仲介、相談、活動者・鑑賞者間のマッチング等の各機能強化を検討</p> <p>文化芸術業務の運営・企画能力を有する人材の育成 新規 展示・広報・企画等の能力を向上し、文化芸術運営のゼネラリスト養成を目的とした「アートマネジメント研修」等の実施について検討</p> <p>若者文化・新しい文化芸術分野への支援 新規 若者が日頃培った文化芸術を発表する機会の提供や新しい文化芸術分野(例:ポップカルチャー等)の支援について検討</p>
(3) 豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援 「育む」	<p>○ 公共的支援資金の活用の高まり → 文化振興基金の助成件数・金額の増加</p> <p>○ 若手芸術家の育成と県内外での活躍 → 音楽、舞踊、箏曲、合唱等の分野における若手芸術家・高校生の実績向上</p> <p>○ 民俗芸能団体のネットワーク形成 → 岩手県民俗芸能団体協議会の設立と加盟促進の取組</p>	<p>○ 文化芸術活動への参加者・活動団体数増加への取組【再掲】</p> <p>○ 公共的支援資金の支援ニーズの把握力向上 → 文化振興基金の個々の事業では助成実績が少ないものも散見され、基金の情報が支援を必要とする者に必ずしも行き渡っていない可能性</p>	<p>○ 伝統・生活文化の担い手・後継者育成 → 地域が一体となり、伝統・生活文化を次世代に継承する取組</p> <p>○ 被災地における文化芸術の再開支援 → 文化芸術を通じた地域復興支援の取組</p> <p>○ 幼少時より文化芸術に「触れる」機会の増加に向けた取組 → 豊かな情操の涵養と「きっかけ」づくりへの取組</p> <p>○ 次世代の文化芸術活動への参加者増加に向けた取組 → 文化芸術の担い手育成への取組</p>	<p>■ 平泉の世界文化遺産登録(H23.6)の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 岩手県の文化財・観光素材等に対する国内外からの注目度が向上 地域の文化財等を理解する・盛りたてる動きの高まり 	<p>伝統・生活文化の次世代への確実な継承 継続 学校教育における伝統・生活文化の理解と継承への取組支援、地域が一体となって伝統・生活文化を保存・継承していくための機会の確保について検討</p> <p>被災地における文化芸術復旧の支援 新規 震災により存続・継承が危惧される被災地の文化芸術再開に向けた支援について検討</p> <p>子ども・若者の「感動する・活躍する」機会の提供 継続 子ども・若者が優れた文化芸術に触れて感動し、文化芸術に対する興味と関心を向上させる取組と、より多くの子ども・若者が文化芸術活動に参加していく取組について検討</p>
(4) 文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成 「つなぐ」	<p>○ 文化芸術活動に対する支援量(金額・人数等)の増加 → 文化振興基金の助成件数・金額の増加、青少年芸術普及事業等の活用増加</p> <p>○ 文化芸術施設相互の連携強化 → 国のプラン活用による公共文化施設の各種連携事業の実施等</p> <p>○ 文化芸術支援を行う団体の増加 → 学術・文化・芸術等の振興を図る活動を行うNPO法人数の増加</p>	<p>○ 行政、民間団体、文化芸術従事者等で組織する協力体制(文化芸術活動支援ネットワーク)の全県的な形成 → 文化芸術活動支援ネットワーク設置地域は県内2か所のみ → 行政機関が参加する連絡調整組織は「盛岡広域文化芸術ネットワーク」の1つのみ、活動も本格的に行われていない状況 → 活動者・支援者間の情報共有及び協働の体制が未整備</p>	<p>○ 地域間・市町村間における文化芸術支援・振興の「ばらつき」の解消 → 各地域が一体となり、文化芸術活動を相互に支援できる体制の整備</p> <p>○ 行政、民間団体、文化芸術従事者等で組織する協力体制(文化芸術活動支援ネットワーク)の全県的な整備【再掲】</p>	<p>■ NHKドラマ「あまちゃん」の放送とその情報発信力</p> <ul style="list-style-type: none"> 岩手県の風土、生活文化(方言・衣食住・生活様式等)への注目度が向上 ドラマの影響による観光客(来県者)の増加 	<p>文化芸術活動支援ネットワークの形成【継続】 継続 岩手県文化芸術コーディネーターを核とした文化芸術活動支援ネットワークの形成を促し、各行政機関・団体・企業等が連携、協力し、文化芸術活動を推奨・支援・活性化することができる方策・体制について検討</p>